

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		授業コード	C109941
担当教員名	林田 和隆			
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件				
受講心得				
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目	研究ゼミナール			

授業の目的	卒論を通じて社会に出て必要な、表現力、チームワーク、トラブルの対処方法、物の購入方法等を勉強します。
授業の概要	学生が特定のテーマを選び、成果を導きだすための研究計画を、できるだけ自主的に立案して、それを実行します。途中で現われる困難に対処しながら結論を見出して、その経過を卒業論文として纏めます。卒業資格を得るための一過程であると共に、学生が大学の研究に寄与できる貴重な機会であります。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：</b> ①実機の機体損傷に対し、補修作業および関連する強度検討を行ないます。 ②ソーラーを利用して航空機の飛行が、可能かどうか検証します。 ③無尾翼機の効率的な翼型形状を解析検証します。 ④コクピットレナーを利用してWIRING(電機配線)について検証します。 ⑤BIRD STRIKE防止対策	
<b>第2週:第3週:</b>	
<b>第4週：</b>	
<b>第5週：</b>	
<b>第6週：</b>	
<b>第7週：</b>	
<b>第8週：</b>	
<b>第9週：</b>	
<b>第10週：</b>	

第11週：		
第12週：		
第13週：		
第14週：		
第15週：		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。		80点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	